



JR新検見川駅の今と昔（花見川区）

## 可決した 主な議案

### 大気中のダイオキシン濃度 測定調査費を計上

## 第3回 定例会のあらまし

平成9年第3回定例会が、9月8日から10月2日までの25日間の日程で開かれました。

この定例会では、条例改正や平成8年度決算など36件の市長提出議案を審議し、すべて原案どおり可決あるいは認定しました。

さらに、議員提出議案1件、意見書14件、決議4件、請願6件を審議したほか、各会派の代表質問が7名の議員により行われました。

なお、平成8年度決算議案については、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査しました。

#### 《予算》

##### \*一般会計補正予算

国庫補助金の決定に伴う電線共同溝整備事業費を追加するとともに、大気中のダイオキシン類の濃度測定調査費や低床スロープ板付バスの導入に係る補助金など、合わせて八億二百万円を追加します。この財源としては、繰越金五億六千三百万円、市債一億四千万円、国庫支出金六千万円などとなっております。これにより一般会計の予算総額は、三千三百五十五億三千二百万円になります。

##### \*特別会計補正予算

千葉市市街地再開発事業特別会計など2事業会計に、合わせて四億九千八百万円を追加します。これにより特別会計の予算総額は、二千六百四十四億四千八百万円になります。

#### 《条例》

\*残土等による土地の埋立て、盛土及びびたい積の規制に関する条例の全部改正

新たに埋立て等に使用される土砂等の安全基準を定め、必要な規制を行うなど、条例の全部を改正し、条例の名称を「千葉市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例」とします。

##### \*千葉市水道給水条例の一部改正

消費税率の改定および地方消費税の導入に伴い、水道料金の額などを改定するため、条例の一部を改正します。

##### \*千葉市営住宅等設置管理条例の一部改正

公営住宅法の一部改正に伴い、市営住宅の第1種、第2種の種別を廃止するとともに、入居収入基準および家賃の決定方式を変更するなど、条例の一部を改正します。

##### 《町の区域及び名称の変更》

宇那谷複合開発事業の施行に伴い、花見川区内山町の一部を同区宇那谷町に変更します。

##### 《工事請負契約》

千葉市地域防災無線整備工事を、三億九千九百万円で行います。

##### 《工事委託契約》

\*JR浜野駅自由通路整備工事を、五億五千四百万円で行います。  
\*中央区新千葉1丁目・2丁目、新町、登戸2丁目地内の都市計画道路千葉港黒砂台線京成電鉄千葉線交差点工事を、四億四千九百万円で行います。

### 市民自由クラブ

**バス交通について**  
 Q 昨今、不採算路線の減便や廃止が実施されているが、本市においても、市民の足を確保するために、バス事業者に対して「コミュニティバス」の運行についても、市民の意向が伝わるよう、市と事業者間で定期的な協議の場を設けるべきではないか、見解を伺う。  
 A 日常生活に欠くことのできないバス交通の確保は、交通局を持たない本市にとって重要な課題であると認識している。現在、バス交通への関わり方やバス事業者への支援策、高齢化社会および地域特性を考慮したコミュニティバスなどについて調査・検討を行っている。また、バスの運行

②施設のあり方として、基本的には学校の余裕教室も含めた公共施設の活用など、各ルートの実施に即した改善を図り、順次、施設改善などを行うこと。  
 ③管轄は、保健福祉局とすること。  
 ④今後、関係者への説明などを行いながら、細部について検討し、できるだけ円滑に改善策を実施していきたい。



子どもルーム運営事業の充実について

### 民主新政クラブ

**広大な多目的芝生広場に**  
 ついて  
 Q 大規模公園の特色ある整備のあり方の一つとして、広大な多目的芝生広場を中心に、市民が自由な発想のもとに利用ができるような公園が市内にあってほしいのではないか、見解を伺う。  
 A 公園の整備に当たっては、事業手法について工夫し、いかに特色を出していくかが課題となっている。  
 多目的広場は欠くことのできない公園の要素であることから、今後は、比較的規模の大きい公園の計画に当たっては、地形や樹林地などの立地条件を勘案しながら計画に反映していきたい。



稲毛海浜公園の芝生広場

### 日本共産党千葉市議会議員団

**介護保険制度について**  
 Q 介護保険制度は、被保険者の負担の公平の観点などから、生活保護世帯、低所得者年金受給者からも保険料を徴収することとなっている。低所得者については、所得段階別の定額保険料とし、生活保護世帯は、生活扶助費に算入することとなっている。また、保険料滞り滞りについては、滞り止めなどの措置を講じることとしているが、介護サービスは受けられることとなっており、また、利用者負担は、公平性を確保するため設けられたものである。低所得者に配慮することとなっている。  
 A 緊急立法については、大型店舗対策など商店街に対する行政支援の強化などを、国に対して働きかけるべきと思うがどうか。  
 また、大型店と地域の調和を図り、地域の良好な都市環境の保全と、安全で快適な街づくりを目的とした指導要綱の策定を求めるがどうか。  
 A 緊急立法については、大型店舗は地元小売業者に与える影響が大きいことから、地域の実情について、機会を捉え、国に話している。  
 また、規制については、国から法を上回る規制は好ましくないと指導を受けている。しかし、本市としても、商店街の活性化、小売業者の経営の活性化などを図っており引き続き支援していきたい。

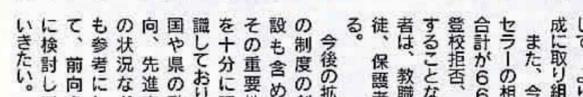
# 代表質問から

9月17日(市民自由クラブ・市議会)、18日(民主新政クラブ・千葉市議会公明・日本共産党千葉市議会議員団)、19日(市民ネットワーク・市民クラブ)の3日間にわたり、7会派の代表により市政運営などについて質問が行われました。

## 市政会

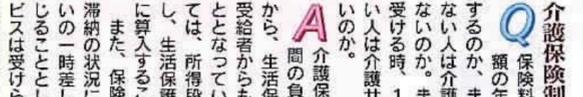
**財政の現状認識と平成9年度の財政収支見直しについて**  
 Q 地方財政を取り巻く厳しい環境と本市の財政の現状に對し、どのような認識をお持ちなのか。  
 A 平成9年度の財政収支の見直しについて伺う。現在の財政状況は、市税収入の大幅な伸びは期待できず、基金残高も減少するなど、臨時的な財源の確保も限界に近づいている。一方、公債費や扶助費などの義務的経費の増加などにより、経常収支比率が上昇傾向にあるので、財政運営の弾力性の確保を図ることが重要な課題であると認識している。  
 9年度の財政収支見直しについては、歳入では、市税収入が前年度の伸び率を下回る見込みである

ことや国庫補助金の当初見込額の確保が難しいなど、全体として厳しい見通しである。歳出においては、各種事業の執行に当たり、歳入の状況を見極めながら、経費の節減、契約遅延の留保などにより可能な限り削減を図るとともに、動的な財政運営を行うこととし、計画した事業が円滑に執行できるように努めていきたい。  
 Q 心の教育は、具体的にどのように行われているのか。また、今年度7校で実施しているスクールカウンセラーの相対件数、相談内容、相談者の内訳、今後のスクールカウンセラーの拡充について、本市独自の制度の創設を含めて伺う。  
 A 本市では、各学校で、道徳や人権尊重教育を中心に「心の教育」を実践している。今後、心の教育については、市独自の制度の創設も含め、その重要性を十分に認識しており、国や県の動向、先進市の状況なども参考として、前向きに検討していきたい。



スクールカウンセラー

**商店街活性化施策について**  
 Q 商店街が危機に直面しているいま、緊急措置として、地域を限定して大型店の進出を禁止する「緊急立法」の実施や、空き店舗対策など商店街に対する行政支援の強化などを、国に対して働きかけるべきと思うがどうか。  
 また、大型店と地域の調和を図り、地域の良好な都市環境の保全と、安全で快適な街づくりを目的とした指導要綱の策定を求めるがどうか。  
 A 緊急立法については、大型店舗は地元小売業者に与える影響が大きいことから、地域の実情について、機会を捉え、国に話している。  
 また、規制については、国から法を上回る規制は好ましくないと指導を受けている。しかし、本市としても、商店街の活性化、小売業者の経営の活性化などを図っており引き続き支援していきたい。



活性化が望まれる商店街

### 千葉市議会公明

**金融ビッグバンに対する取り組みについて**  
 Q 「日本版ビッグバン」(金融制度改革)により金融再編などが予測されることから、市債資金の調達や資金運用など、金融取引の面から本市への影響を考慮されるが、その取り組みについて伺う。  
 A 金融システムの改革が実施されると、一投資家あるいは一消費者としての自己責任原則の確立が必要と考えられるので、本市としても地方自治体という立場だけでなく、一経済主体としての意識をより一層強く持たなければならぬ。  
 市債の資金調達や基金の運用など金融機関との取引においては、

不良債権情報などディスクロージャー(企業内容の開示、資料などの収集・把握に努め、より安全で効率的な資金運用などの研究が必要と考えられており、この改革の進行を注意深く見守っていききたい。  
 Q 県庁前・星久喜間の「未広都市計画決定の時期を含め、事業完成までの見通しについて伺う。また、この区間の整備完了後の計画主体と事業主体について伺う。  
 A 県庁前・星久喜間については、関係機関や関係事業との調整を図りつつ、今年度から環

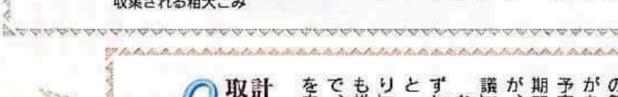


建設中のモノレール(県庁前付近)

### 市民ネットワーク

**地球温暖化問題について**  
 Q 12月の地球温暖化防止条約会議に向けて、千葉市としてどのように取り組むのか。  
 A 本市では、千葉市環境基本計画「のなかで、地球温暖化に影響する二酸化炭素の排出量の削減目標を設定し、目標達成に努めている。さらに、本市は大規模な事業者・消費者の側面をもつので、本年4月に「エコオフィスちばプラン」を策定し、地球温暖化に関する削減目標も定めて、本年4月に「エコオフィスちば」を立ち上げ、地球温暖化防止をテーマとした「七都県市環境セミナー」を開催し、京都会議に向けて、地方公共団体として地球温暖化防止に向けての取り組み

の充実・強化が重要という観点から、本市あるいは七都県市という立場で、これらの施策の推進に努めていきたい。  
 Q 粗大ごみの有料制について伺う。  
 A 有料制の実施時期について伺う。9年度中が妥当との答申を受けている。これまでの検討のなかで、市民への十分な周知期間と、排出実態の調査などにより高質な収集・運搬体制の整備を行うこととしており、今年度中に執行体制を整えたいと考えて、平成10年6月頃からの実施を目標にした



収集される粗大ごみ

### 市民クラブ

**第6次5か年計画について**  
 Q 今定例会で事業期間の調整と計画期間の延長を説明されている。この際、すべてを見直し、大幅な計画変更が、新しい時代の流れに沿った新たな計画を策定する良い機会でもあると思うが、見解を伺う。  
 A 国の公共投資基本計画の期

の抑制などが明らかとなり、本市の第6次5か年計画に大きな影響があると考えている。このため、予定している事業について、事業期間や財源の調整を考えている。また、5か年計画の事業は、いずれも「市民生活の質的な向上」と「大都市にふさわしくまいつく」のために必要不可欠で、今後とも推進すべきものと考えている。現時点では、事業期間の調整を中心に進めていきたい。



消費生活センター・計量検査所複合施設用地(中央区井天町)

**計量検査所用地の取得について**  
 Q 計量検査所用地として取得した稲毛区弥生町用地の取得

**可決した 意見書**

議員提出議案として14件の意見書と4件の決議を上程し、次の13件を可決しました。可決した意見書と決議は、関係行政機関などに提出しました。

- 『暴力追放に関する意見書』
- 『国民の祝日に関する法律』の改正に関する意見書』
- 『教育予算の増額に関する意見書』
- 『義務教育費の国庫負担制度の堅持に関する意見書』
- 『災害救助法の抜本的改正を求める意見書』
- 『臍帯血移植の医療保険適用等に関する意見書』
- 『アメリカ合衆国の「米国界核実験」の中止を求める決議』
- 『地方選挙の投票率向上のための公職選挙法改正を求める意見書』
- 『老人クラブ活動助成費を確保する意見書』
- 『出版物の再販制廃止に反対する意見書』
- 『青少年健全育成に関する法律の制定を求める意見書』
- 『「大規模小売店舗における小売業の事業活動の調整に関する法律」の改正についての意見書』
- 『可燃施設における事故原因の徹底究明と安全対策の確立を求める意見書』

# 委員会審査から



総務委員会審議風景

## 常任委員会

9月12日に関かれ、議案15件、請願4件、陳情4件を審査しました。  
 なお、閉会中の8月25日にも都市消防委員会が開かれ、請願2件、陳情2件について審査しました。  
 その結果、14議案を可決し、1議案を否決したほか、請願・陳情は、採択送付4件、不採択7件となりました。

**総務委員会**  
 一般会計補正予算など議案5件、請願2件、陳情1件を審査し、廃棄物エネルギー有効利用可能性調査事業に、NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)からの補助金などについて、質疑がありました。  
 ▼公共料金の口座振替納付の改善に関する請願 **採択送付**  
 ▼新港清掃工場建て替えに伴う余熱利用施設にアイススケート場を併設することに關する請願 **採択送付**  
 ▼千葉市情報公開条例の見直しを求める陳情 **不採択**  
 ▼保健下水委員会  
 医療保険改定によって増加する自己

負担の助成に關する請願など請願2件、陳情1件を審査し、医療保険法および老人保健法が施行されてからの患者の反応と受診率の低下割合などについて、質疑がありました。  
 ▼医療保険改定によって増加する自己負担の助成に關する請願 **不採択**  
 ▼国際高齢者年を支持し、国連の高齢者原則を告知徹底することに關する請願 **不採択**  
 ▼東洋医学・鍼灸治療に關する陳情 **不採択**

**環境建設委員会**  
 一般会計補正予算や残土等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に關する条例の全部改正など議案4件を審査し、ダイオキシン濃度測定に關して、測定地点を9か所とした経緯と今後の増設の考え、経年調査の内容などについて、質疑がありました。

**経済教育委員会**  
 千葉市育英資金支給条例の一部改正の発議1件、議案1件、陳情1件を審査し、各種奨学金制度の活用状況や給付制などについて、質疑がありました。  
 ▼通学路の安全確保を求める陳情 **採択送付**

**都市消防委員会**  
 一般会計補正予算、都市計画道路千葉港黒砂台線京成電鉄千葉線交差部工事に關する工事委託契約など議案6件、陳情1件を審査し、市営住宅等設置管理条例の改正に關して、改正内容の入居者への周知や入居状況の変化予測などについて、質疑がありました。  
 なお、閉会中の8月25日にも開かれ、請願・陳情について審査しました。  
 ▼稲毛区萩台町に建築確認処分をした3階建アパートに關する請願 **不採択**  
 ▼椿森3丁目マンション(仮称)新

築工事の認可・着工許可の差し止めに關する請願 **不採択**  
 ▼若葉区東寺山町第三区画整理事業内五街区への高層住宅建設反対に關する陳情 **不採択**  
 ▼花見川区花園町2482-15に建設中(3月着工)のマンション付設専用駐車場の使用に關する陳情 **採択送付**



市道と京成電鉄の交差部工事(中央新千葉1丁目地)

## 大都市税財政制度・地方分権調査特別委員会

9月2日に関かれ、大都市財政の実態に即応する財源の拡充に關する要望と、地方分権に關する調査の今後の進め方について協議しました。

## 少子・高齢化社会対策調査特別委員会

8月22日に関かれ、今後の委員会の進め方などについて協議しました。

## 決算審査特別委員会

- 委員 長 立石 悟  
 副委員 長 小川 善之  
 第1分科会主査 稲垣 昌彦  
 同 副主査 三瓶 輝枝  
 第2分科会主査 佐野 彰  
 同 副主査 小谷沢常幸

平成8年度一般会計及び特別会計決算議案を審査するため、9月11日に、全議員で構成する決算審査特別委員会(2分科会)を設置し、延べ8日間にわたり審査しました。  
 また、決算議案や市政に關する総括質問が7名の議員により行われました。

10月1日の決算審査特別委員会で、2分科会の審査概要について報告が行われ、採決の結果、各会計決算を認定しました。  
 なお、次の8項目の指摘要望事項は、決算審査特別委員会が市長に要望したものです。

### 指摘要望事項

- 市債については、残高が累増している現状から、将来負担を考慮した適正な活用に努め、財政の健全性を維持すること。
- 滞納額の増加が見られる市税については、公正・公平の観点から、納税意識の高揚と徴収体制の充実を図り、納税者の実情を勘案しながら収納率の一層の向上に努めること。
- 阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、都市型災害に對応できる防災体制の確立に努めるとともに、広域的な防災訓練については、創意工夫し災害発生時に即応できるものにするほか、地域における自主防災訓練の指導および援助にも十分意を用いること。
- 高齢者保健福祉事業については、本格的な高齢社会への適切な対応を図るため、事業の再構築なども視野に入れた十分な検討を行い、最も効果的かつ効果的な施策を推進すること。
- 合併処理浄化槽設置事業については、公共下水道事業および農業集落排水事業との調整を図りながら、市民の要望に応じた予算の確保に努めること。
- 商店街の活性化については、消費者のニーズを把握するとともに空き店舗対策等の各種施策の見直しや強化を図り、にぎわいのある商店街づくりに努力すること。
- 各種事業における調査業務委託の実施に当たっては、独自調査の可能性なども市みずから行うなど、主体性および自主性を発揮した事業の推進を図るとともに、調査内容を集約した効率よい発注となるよう努めること。
- また、その調査結果については、議会への報告に遺漏のないよう留意すること。
- 歩道の整備については、安全に行き渡る幅員確保のための工夫をこらすとともに、高齢者や障害者に配慮した整備に一層努めること。

## 総括質問

主な質問項目

- 地域情報化施策について
- シンクタンクについて
- 新たな市民行政について
- 選挙について
- 防災計画の見直しと活動層の調査について
- 子育て支援策について
- 図書館行政について

## お知らせコーナー

### 傍聴のご案内

平成9年第4回定例会は12月1日(月)に開会する予定です。  
 本会議は、原則として公開していますので、どなたでも傍聴できます。  
 傍聴は、本会議の当日、議会棟1階で受け付けています。  
 会議日程は11月27日(木)に決まる予定です。

### 点字版と録音版(テープ)の市議会だより

目の不自由な方に、市議会の活動をお知らせするため、「ちば市議会だより」の点字版と録音版(テープ)を作成しています。  
 ご希望の方は、ご連絡ください。

### 会議録の閲覧

本会議の審議状況などを記録した会議録は、市議会図書室、市政情報室、市立の図書館(北部・南部・東部・こてはし・高洲・みやこ)や県立中央図書館で閲覧できます。  
 なお、第3回定例会の会議録は、次回定例会までに作成する予定です。



表紙に掲載しました写真は、JR新検見川駅の様子です。新検見川駅は、戦後間もない昭和26年7月に開設されました。

その後、駅舎も橋上式に改築され、現在は一日平均5万5千人を超える乗降客があります。  
 当駅は、花見川区役所の最寄り駅として、また、さつきが丘などの内陸団地や海浜ニュータウンの玄関口の役割も担っています。

「ちば市議会だより」発行委員会  
 問い合わせ先 議会事務局調査課  
 ☎043(245)5472



この市議会だよりは再生紙を使用しています